

# 教育センター学びの丘研修員における学びについて

和歌山市立砂山小学校

教諭 井上 義之

和歌山県教育センター学びの丘における研修員として研究と修養を重ね、教育に関する専門的・技術的な事柄についての理解及び教員としての資質・能力の向上を目指してきた。その1年間の学びについて述べる。

研究では、これまでの自分自身の授業実践における課題を振り返り、その課題解決に向けた実践を行った。研究を通して、算数科において児童が自ら問題解決に向かう姿を育成するためには、児童が自立的・協働的に学ぶ機会を設定することや児童自身が学び方を自己選択・自己決定する場面を確保することの大切さを実感した。

修養では、専門研修講座や研修員研修を受講し、多くの知識や経験を得ることができた。中堅教諭等資質向上研修やミドルリーダー育成研修の聴講では、今求められている教員の資質・能力を高めることやミドルリーダーとして教職員間の連携を図ること、現職教育や学校運営に積極的に関わっていくことの必要性を学んだ。

今後も、自身の授業力向上に向けて日々研究と修養に励むことやミドルリーダーとしての自覚をもち主体的に行動すること等、この1年間で得た学びを広く学校や地域に還元していくとともに、生涯学び続ける姿勢を忘れず、教員としての資質・能力の向上を目指したい。